

鹽窓や商店

しおがままま
第 202 号



地場産品を積んだ奉曳車（初穂曳）

新嘗祭（産業振興大祭）十一月二十三日

十一月二十三日（日）、大神様の恵みに感謝する新嘗祭（産業振興大祭）が斎行されます。

この日、宮中では天皇陛下自ら神嘉殿に新穀を奉られ、全国の神社においても神事が執り行われます。新嘗祭は、古くから稻作など農耕を生業の基幹としてきた我が国において、最も重要な神事の一つと言えるものです。



拔穂祭

はつほびき 初穂曳奉仕者募集

鹽竈神社奉仕会では、初穂曳（11月23日）の奉仕者を募集いたしております。

大勢の力を合わせ、大神様に感謝の真心をささげる初穂曳。参加費は無料ですので、みなさまお誘い合わせのうえ御参加ください。

お申込み・お問い合わせは社務所までお願いいたします。

当社では、御神田において去る五月十日に御田植祭を斎行して田植を行い、九月十三日には拔穂祭を斎行して稻穂を刈り取りました。新嘗祭当日に執り行われる「初穂曳（はつほびき）」では、御神田から刈り取った稻穂をはじめ、多くの方々より御奉納いただいた地場産品を満載した奉曳車が氏子たちの手で奉曳されます。農耕と殖産の守護神として崇敬される志波彦神社では、神楽「朝日子舞」が奉奏され、大神様に感謝の誠が捧げられます。



市内での初穂曳

裏千家獻茶祭

十月五日（日）、茶道裏千家淡交
会宮城支部主催による裏千家献茶祭
が鹽竈神社左右宮において斎行され
ます。

当日は、裏千家丹心斎千宗史若宗
匠のお点前で濃茶・薄茶が点てら
れ、御神前にお供えされます。



志波彦神社遷座記念祭
並びに氏子崇敬会秋季大祭

九月二十九日、志波彦神社遷座記念祭ならびに氏子崇敬会秋季大祭が斎行されました。

去る七月二十四日、総代就任奉告祭が斎行されました。

任期満了により、重任の十五名に加えて新たに三名が総代に就任されました。



式内社としても宮城郡岩切村（仙台市宮城野区岩切）に鎮座しました。明治四年には国幣中社に列格し、明治七年に鹽竈神社に遷座され、のちに国費により現在の御社殿が造営されて昭和十三年に竣工しました。

總代就任奉告祭

表千家献茶祭



去る九月七日、表千家同門会宮城県支部主催による献茶祭が斎行されました。左右宮拝殿において、表千家元・猶有斎千宗左宗匠の御点前で立てられた濃茶・薄茶が御神前にお供えされました。

社務所では終日茶会が催され、各地から集つた約六百名の門人らが交流を深めました。

講社だより

講社大祭のご案内

十月十一日（土）より十三日（月・祝）までの三日間、講社大祭を斎行いたします。

塩竈千人講講社祭

六月二十二日、松戸信三講長以下四十五名の講員参列のもと、塩竈千人講講社祭が塩竈神社左右宮において斎行されました。

本年は、左記の二名が永年継続表彰を受けられました。

令和七年度継続表彰者（敬称略）

◆十年表彰◆

阿部 保子・阿部 かほる

◇神楽奉納団体◇

十一日 横崎法印神楽（石巻市）

十二日 城生野神楽（栗原市）

十三日 塩竈神楽保存会（塩竈市）

宮城県支部主催による献茶祭が斎行されました。

左右宮拝殿において、表千家

元・猶有斎千宗左宗匠の御点

前で立てられた濃茶・薄茶が御

神前にお供えされました。

社務所では終日茶会が催され、各地から集つた約六百名の門人らが交流を深めました。

敬神婦人講だより

◆大年寺墓参並びに研修旅行

六月二十日、宇仁講長以下講員二十七名により大年寺に墓参。あわせて研修旅行を実施し、金蛇水神社

（岩沼市）を正式参拝したのち相馬方面へ向かいました。

この日は、塩竈に縁の深い伊達綱村公の命日であり、墓参は毎年恒例となっています。

◆宮城県敬神婦人連合会総会

十一月十一日（土）より十三日（月・祝）までの三日間、講社大祭を斎行いたします。



研修旅行（金蛇水神社にて）



横崎法印神楽

名譽宮司・ 宮司就任奉告祭

七月三十一日、当社責任役員・

総代らが参列して名譽宮司並びに
宮司の就任奉告祭が別宮拝殿にお
いて斎行されました。

この後、八月七日に宮城県神社

庁村田守広庁長ほか立会のもと、
当社社務所において宮司事務引継
式が執り行われ、鍵名譽宮司より
大瀧宮司へと正式に社務が引き継
がれました。



博物館だより

◆令和七年度博物館実務実習実施

九月八日から十二日までの五日間、

博物館実務実習を実施しました。

本年度は東北学院大学より二名の
実習生が参加。実際の資料を用いて
取り扱い方法などを学びました。



博物館実習

◆資料の出品

左記の企画展に館蔵の刀剣類を出品

中ですので御案内申し上げます。

◇登米懷古館企画展「もののふの魂」

会期 九月十三日～十一月十六日

作品 月山派の刀二点

常設展観覧料金 大人四〇〇円



奉祝鹽竈神社例祭

第四十回児童書道展

去る七月一日から十日まで、当社

絵馬殿において第四十回児童書道展
が開催されました。

塩竈市内の六つの小学校の児童ら
による「みこ」「神木」「手水」
など神社にかかわる題材の作品計
三百四十八点が出品・展示され、こ
のうち八十六点が特選作品に入選し
ました。



◇東北歴史博物館テーマ展

仙台藩の工芸

—刀剣と甲冑—

会期 九月二十三日～十一月三日

作品

刀剣六点・刀剣外装六点

常設展観覧料金

大人四六〇円

刀銘 月山

奉納御礼

◆仙台七夕七つ飾り

仙台市 熊谷 律子 殿

◆曲木神社賽錢箱

塩竈市 宮城 克巳 殿

◆社務所大玄関姿見鏡

塩竈市 千田 忠一 殿



銅板奉納者芳名

六月

愛媛県 濱本 智祥 殿

七月

岐阜県 馬島 和子 殿

八月 神奈川県 鋤柄 慎吾 殿

ほか一二八名

ご結婚おめでとうござります

六月

仙台市 油布 悟

登米市 飯田 敦子

栃木県 遠田郡

羽根田洋輔
武中 智穂

山形県 塩竈市

福島県 伊具郡
渡部 智也
井上 海美

十月二十九日（水）から十一月
十二日（水）まで、当社境内の馬場
を会場に菊花展が開催されます。

塩竈市菊花会主催の塩竈市菊祭
り・宮城中央菊花展は、本年で
七十五回を迎えます。

富山県

塩竈市 工藤 斎州
山川 千尋

藤井 徹太
田中 理菜

（敬称略）

アメリカ合衆国
クリストファー・D・ホワード
宮城郡 加藤亜由美

東北式内社顕彰会

総会・研修会開催

当神社内に本部を置き、延喜式内社の興隆を目的に活動する東北式内社顕彰会は九月五日、東北歴史博物館（多賀城市）にて今年度の総会を開催しました。

十二名の参加者たちは総会後、同博物館の特別展「世界遺産 縄文」展について担当学芸員の解説を受け展示を拝観しました。

拝観しました。



菊花展の御案内



期間中は多くの花々が境内を彩るほか、マリンゲート塩釜においても十月三十日から十一月七日まで展示が行われます。

志波彦様・鹽竈様が海を渡る
海上渡御を未来へ伝えよう!!

御座船新造プロジェクト

みなど祭では、志波彦神社と鹽竈神社の二基の大神輿を御座船「龍鳳丸」と「鳳凰丸」に奉安して海上渡御が執り行われてきました。

しかし、現在の御座船は、いずれも建造から約六十年が経過して老朽化が著しく、今後長期間の安全な運用が難しい状況です。

鹽竈みなど祭協賛会では、令和九年の第八回塩竈みなど祭でお披露目に向けた御座船の新造計画を進めていますが、費用の確保が喫緊の課題となっています。

つきましては、日本三大船祭りにも数えられる海上渡御を後世に継承するため、何卒皆様より御寄付を賜りたく心よりお願い申し上げます。

御協力のお願い

みなど祭では、志波彦神社と鹽竈神社の二基の大神輿を御座船「龍鳳丸」と「鳳凰丸」に奉安して海上渡御が執り行われてきました。

このほど、塩竈市文化財保護審議会会長の高橋守克氏と保存活動に携わる丹野貴美子氏により、鹽竈ザクラの特徴や保存活動の経緯をまとめた冊子『鹽竈神社の鹽竈ザクラ』が発刊されました。

地域の誇りである鹽竈ザクラの歴史をまとめた冊子は、一部七百円にて塩竈市役所本庁舎売店ならびに鹽竈神社博物館受付にて頒布いたしております。

ご寄付についての
詳細はこちらから



『よみがえった天然記念物
鹽竈神社の鹽竈ザクラ』

発刊のお知らせ

古くから和歌にも詠まれ、貴重な品種として知られてきた鹽竈ザクラ。昭和六十二年に国の天然記念物に指定され、現在も保存・育成がなされていますが、絶滅の危機に瀕しました。



祭事案内

十月から十一月

毎月

朔日祭

曲木神社月次祭

御金神社月次祭

鹽竈神社月次祭

志波彦神社月次祭
二十九日

十月

裏千家献茶祭
五日

明治祭
三日
十五日
七五三

新嘗祭・初穂鬼
二十三日

講社大祭
十七日

神嘗奉祝祭
十一日

十二月

嘉津良比祭
一日
三十一日
大祓式・除夜祭

十一月

夕涼み子どもの数の吹き出せり
屋上へ家族総出や大花火

見て居れば踊りたうなる膝栗毛
言ひ訳の二つや三つよサングラス
鬼灯や吹つてくれる姉のゐて
頼られるうちがはなよと冷し酒
漆黒の海がはじける大花火

衿正す色なき風の男坂
二百二段上りつめたる秋思かな

文芸欄

菅原	和子
佐藤	悦子
齊藤	豊子
佐藤	光江
池田	智恵子
鈴木	ゆう子
上田	由美子
今田	須美子
今野	紀美子
及川	源作

参拝記録

六月	四日	愛知県豊田市八幡神社松平東照宮 宮司 柴田信之殿 ほか氏子総代十二名
七月	十五日	（一財）國學院大學院友会総務課長 建部崇殿 株アオバヤ代表取締役社長 高橋瓦殿 ほか三名
七月	七日	國學院大學学術メディアセンター
七月	十八日	武藏御嶽神社宮司 金井格殿 ほか十二名
七月	二十一日	盛岡八幡宮宮司 藤原大修殿 ほか崇敬会十五名
七月	二十七日	逢隈五社会八雲神社宮司 加藤栄智殿ほか十九名
七月	三十一日	一関市藤沢町第十二区自治会・同農家組合十五名
八月	三十日	定例別表神社会 十二名
八月	二十日	岩手県神社庁上閉伊支部 支部長 多田頼申殿 ほか神職・総代三十三名
八月	三十一日	洗心講世話人会 八名

國學院大學指定実習

九月五日から十一日までの一週間、

國學院大學より学生を受け入れて指定

実習を実施しました。

本年の参加者は、神道文化学科三年

の大阿久岩寛君（栃木県）・中居靖博
君（青森県）・森琢真君（千葉県）・高

松礼人君（東京都）の四名。実習では、

祭式の講義や奉製作業をはじめ、社頭
における参拝者への応対など実践的な
内容について熱心な取り組みがみられ
ました。

人事異動

昇級

九月十日付（神職身分二級）

退職

八月三十日付

新任

九月十五日付

巫女 加藤 美羽

社員 岡田 祐輝

ようやく稔りの秋を迎えました。社
報二〇二号をお届けいたします。

赤子写

またなおか



実習開講式にて

社報「鹽竈さま」第二〇二号

発行日 令和七年十月一日

発行所 志波彦神社社務所
鹽竈神社社務所

〒九八五一八五〇

宮城県塩竈市一森山一番一號

電話（011）3167116一一代

<http://www.shiogamajinja.jp/>